



LDKと洋室は三枚引戸を開けることにより、一つの空間となる



壁面を塗り壁で仕上げたエントランス



チーク材を用いたエントランスホール



ベンチを設けたエレベーターホール

こだわりのある開口部に

建築主は建築物の開口部に非常に強いこだわりを持っていた。そこで、メインとなるファサードをカーテンウォールとし、さらにランダムな構成とすることでインパクトのあるファサードに仕上げた。国道1号線に面するこのファサードは、建物の顔となるだけでなく、会社の顔としても良いアピールとなる事が期待できる。

ガラスへのこだわり

外観から開閉部・内装部・層間部の境界が悟られないよう「熱線反射ガラス」を採用。光が反射し写り込む空が、ファサードを美しく彩り建物をより一層引き立てている。また、空気層12mmの「Low-Eペアガラス」を標準とし、居室の断熱性を高めている。



主要用途 事務所・共同住宅
 敷地面積 467.48㎡ (141.44坪)
 建築面積 249.07㎡ (75.35坪)
 述べ床面積 1,218.52㎡ (280.35坪)
 最高高さ 19.990m
 構造種別 鉄骨造
 建物階数 地上6階建て
 完成年月 2017年9月
 設計 平野 晃 (横浜支社流通設計)